



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 ユニチカ株式会社
 コード番号 3103 URL <http://www.unitika.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 安江 健治
 (氏名) 石川 省二

TEL 06-6281-5721

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	44,565	△0.3	3,040	53.8	2,124	119.2	862	—
23年3月期第1四半期	44,681	5.0	1,976	81.9	969	764.9	56	3.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,062百万円 (675.6%) 23年3月期第1四半期 136百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.74	1.55
23年3月期第1四半期	0.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	270,433	29,814	9.7
23年3月期	268,740	25,977	8.3

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 26,101百万円 23年3月期 22,336百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,000	△4.8	4,500	△0.4	2,500	11.4	1,000	△13.0	1.88
通期	178,500	△1.2	12,500	18.9	8,000	30.7	3,500	43.2	6.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	527,527,879 株	23年3月期	475,969,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	564,915 株	23年3月期	561,784 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	494,795,794 株	23年3月期1Q	475,420,533 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成23年4月1日～平成23年6月30日）は、東日本大震災による国内景気の大幅な落ち込みがありました。寸断された原燃料や部品などのサプライチェーンの復旧が段階的に進み、持ち直しの動きが出てきました。こうした中、売上高は44,565百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は3,040百万円（同53.8%増）、経常利益は2,124百万円（同119.2%増）、四半期純利益は862百万円（前年同期は56百万円の利益）となり、高分子事業を中心に販売が好調に推移したことなどから、収益は伸長しました。

セグメント別の状況は次の通りです。

【高分子事業】

フィルム事業では、包装分野の需要が活発となり数量が伸長し、工業分野の数量は伸び悩みましたが高採算品の構成比を高めて利益率を確保し、両分野とも好調に推移しました。樹脂事業では、主要分野である自動車で生産調整が実施されたためナイロン樹脂など関連素材の数量が落ち込みましたが、電気電子機器用途は底堅い荷動きでした。不織布事業では、ポリエステルスパンボンドでは、自動車のカーペット・内装材用途が不振でしたが、需要が堅調なルーフィングや農業資材用途でカバーしました。また、綿スパンレースは化粧雑貨用途などが好調に推移しました。

【機能材事業】

ガラス繊維事業では、新規建築物の減少で内装材用途は苦戦しましたが、ビル・土木改修用途は堅調に推移しました。ICクロス事業では、受注や販売構成が改善傾向となり、採算改善の兆しが出始めました。ガラスビーズ事業では、ロードマーキング用途は堅調でしたが、工業・反射材用途が低調に推移しました。また、活性炭繊維事業では、浄水器や業務用マスク用途が伸長する一方で、自動車・廃液処理用途は減少しました。

【繊維事業】

産業繊維事業では、ポリエステル高強力糸が建築・土木分野で、ポリエステル短繊維が車輻・生活資材分野でそれぞれ堅調に推移しました。ビニロン繊維は、欧州向けセメント補強用の販売が改善しましたが、価格の弱含み、為替の影響などにより採算の改善には至りませんでした。衣料繊維事業では、高機能素材、ユニフォームのワーキング分野が堅調に推移するとともに、多くの商材、分野で収益改善が進みました。

【その他】

生活健康事業では、健康食品や飼料が堅調に推移したほか、セラミドが伸長しました。メディカル事業では、医用材料分野は抗血栓性カテーテルの販売が好調に推移し、生化学分野も輸出を含め酵素、診断薬とも販売が好調に推移しました。不動産関連事業では、減収となったものの、マンション販売などが比較的堅調に推移しました。また、環境事業では、環境プラント関連の事業譲渡により減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前期末に比べ1,693百万円増加し、270,433百万円となりました。これは、主として売上債権が増加したことによります。負債は、前期末に比べ2,143百万円減少し、240,619百万円となりました。これは、主として借入金が増加したことによります。純資産は、前期末に比べ3,836百万円増加し、29,814百万円となりました。これは、主として転換社債型新株予約権付社債の転換により資本金及び資本剰余金が増加したこと、及び、四半期純利益により利益剰余金が増加したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は、概ね当初の計画通り推移しました。従いまして、平成23年5月10日に公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,786	14,020
受取手形及び売掛金	41,898	45,742
たな卸資産	46,615	47,587
その他	4,514	4,005
貸倒引当金	△233	△244
流動資産合計	109,580	111,112
固定資産		
有形固定資産		
土地	104,606	104,797
その他（純額）	47,062	47,208
有形固定資産合計	151,669	152,006
無形固定資産		
のれん	3	26
その他	727	748
無形固定資産合計	731	775
投資その他の資産		
その他	7,368	7,128
貸倒引当金	△609	△589
投資その他の資産合計	6,758	6,539
固定資産合計	159,159	159,320
資産合計	268,740	270,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,952	24,001
短期借入金	73,893	71,113
1年内返済予定の長期借入金	37,480	37,284
未払法人税等	325	121
賞与引当金	1,160	805
事業構造改善引当金	624	459
その他	10,869	11,200
流動負債合計	149,306	144,985
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	2,250
長期借入金	71,176	70,711
退職給付引当金	5,651	5,939
役員退職慰労引当金	71	59
その他	16,556	16,672
固定負債合計	93,456	95,633
負債合計	242,762	240,619
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,798	25,173
資本剰余金	1,661	3,036
利益剰余金	△1,943	△1,081
自己株式	△55	△55
株主資本合計	23,460	27,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△49	△71
繰延ヘッジ損益	43	6
土地再評価差額金	2,452	2,453
為替換算調整勘定	△3,569	△3,358
その他の包括利益累計額合計	△1,123	△970
少数株主持分	3,641	3,712
純資産合計	25,977	29,814
負債純資産合計	268,740	270,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
売上高	44,681	44,565
売上原価	36,537	35,453
売上総利益	8,143	9,112
販売費及び一般管理費	6,166	6,071
営業利益	1,976	3,040
営業外収益		
受取利息	57	46
受取配当金	64	61
その他	344	329
営業外収益合計	466	436
営業外費用		
支払利息	920	823
持分法による投資損失	15	39
その他	537	489
営業外費用合計	1,474	1,352
経常利益	969	2,124
特別利益		
固定資産売却益	292	16
特別利益合計	292	16
特別損失		
固定資産処分損	133	137
投資有価証券評価損	220	7
事業構造改善費用	99	451
退職給付制度終了損	13	275
環境対策費	206	—
その他	321	134
特別損失合計	995	1,007
税金等調整前四半期純利益	266	1,133
法人税、住民税及び事業税	336	69
法人税等調整額	△164	185
法人税等合計	172	255
少数株主損益調整前四半期純利益	93	877
少数株主利益	37	15
四半期純利益	56	862

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	93	877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△21
繰延ヘッジ損益	△7	△37
為替換算調整勘定	81	253
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△10
その他の包括利益合計	43	184
四半期包括利益	136	1,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83	1,015
少数株主に係る四半期包括利益	53	46

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	16,388	3,680	18,537	38,606	6,074	44,681	—	44,681
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2	—	40	43	389	432	△432	—
計	16,391	3,680	18,577	38,649	6,464	45,113	△432	44,681
セグメント利益又は損失 (△)	2,418	358	△105	2,670	△53	2,617	△641	1,976

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△641百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	高分子 事業	機能材 事業	繊維事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,397	3,943	19,319	41,661	2,903	44,565	—	44,565
セグメント間の内部売上 高又は振替高	3	13	45	62	399	461	△461	—
計	18,401	3,957	19,365	41,723	3,303	45,027	△461	44,565
セグメント利益又は損失 (△)	2,884	359	452	3,697	△55	3,641	△601	3,040

(注) 1. その他には、環境事業、メディカル事業、生活健康事業、不動産関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△601百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間において、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換（行使）により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,375百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が25,173百万円、資本剰余金が3,036百万円となっています。

(6) 重要な後発事象

第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の行使

平成23年4月8日に発行した第1回無担保転換社債型新株予約権付社債は、平成23年7月1日から7月19日までの間に、以下のとおり行使され全額が転換されました。

(1) 行使新株予約権個数	18個
(2) 交付株式数	45,432,445株
(3) 行使額面総額	2,250,000,000円
(4) 平均行使価額	1株当たり49.5円
(5) 未行使残存額	0円
(6) 資本金増加額	1,125,000,000円
(7) 資本準備金増加額	1,125,000,000円